



次世代型

【白内障手術】眼が若返る?!

フェムトセカンドレーザー 白内障手術

「フェムトセカンドレーザー白内障手術」を導入し 4 年経過しました。水晶体囊の前面を真円かつ中心に切除することが可能で、レンズを水晶体囊の中心に固定できレンズの偏位や傾きを最小限にすることができます。また水晶体内の硬い組織(核)を細かく分割する事で超音波の使用を最小限に減らす事ができ、眼への負担を減らす事が可能です(ゼロフェイコ)。今まで以上に「より質の高い良好な視機能」を得られます(保険適用外・自費診療)。

プレミアムレンズ 【老視矯正眼内レンズ】

多焦点眼内レンズ・乱視矯正多焦点眼内レンズ

眼内レンズ(IOL)には「単焦点」と「多焦点」とがあります。単焦点 IOL はピントの合う距離が(遠くか近くか)1 カ所のため、手術後も高い頻度でメガネを必要とします。一方多焦点 IOL は、遠くにも近くにもピントが合う 2 重焦点と中間(50cm~1m)にもピントが合う 3 重焦点があるので手術後のメガネの使用頻度を大幅に減らすことができます。手術前と比べ「快適な生活になった」との声も多く聞かれます。

最近では乱視用の多焦点眼内レンズも登場しました。2 重焦点 IOL は「先進医療」として厚生労働省に承認されていますが、3 重焦点 IOL は先進医療として承認されていませんので、術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代金)に関わる治療代全て「自費診療」となります。当院の経験から 3 重焦点 IOL は 2 重焦点 IOL より順応力が良好です。



Fine Vision (PhysIOL 社/ベルギー)
3 重焦点眼内レンズ

アドオン Add-On 追加挿入型 (多焦点・乱視矯正多焦点)眼内レンズ

Add-On 眼内レンズ(IOL)は視機能向上のために開発された「2 枚重ね挿入専用」IOL です。すでに白内障手術によって挿入されている単焦点 IOL の上に、更にもう 1 枚 多焦点(2 重焦点)IOL Add-On を追加挿入し、ピントが「遠くにも近くにも」合うようになります(乱視矯正用もあります)。先進医療として厚生労働省にまだ承認されていませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。【詳しくはスタッフに御相談ください】

最新鋭☆眼科検査機器



オプトスカリフォルニア：2種類の広範囲眼底造影検査（フルオレセイン蛍光眼底造影(FA)画像・インドシアニングリーン蛍光眼底造影(IA)画像）が撮影できる最新鋭機器。国内での導入は当院が最速・国内初。

オプトス 200Tx：1回の撮影時間 0.4 秒、200° の画角で、網膜 80%以上の領域 高解像度画像を無散瞳・非接触で撮影するため、患者さんの負担を軽減。網膜周辺部の病変を見逃さずに撮影する事が可能。



前眼 OCT カシア2：1回の撮影で「角膜から水晶体」まで、今まで得られなかった詳細な画像を取得し、屈折・眼内レンズパワー計算・乱視軸を解析。白内障手術の精度をより完璧に近づけることができる最新鋭の検査機器。

屈折矯正手術

オルソケラトロジー

特殊な形状のコンタクトレンズ(ナイトレンズ)を就寝中に装用し、角膜形状を矯正します。近視や乱視の屈折矯正を行う視力補正方法です。朝、レンズを外し、昼間は裸眼視力を維持します。子供から大人まで幅広い層に治療が可能です。子供さんの「近視進行予防」も期待できるとされており、最近では小・中学生の装用者も増えています。

クロスリンク(CXL)

「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑える事を目的とし角膜の実質の強度を高めコンタクトレンズの装用も可能にするレーザー治療です。アメリカでは2016年春 FDA に認可されましたが、日本は保険適用外・自費診療です。

毎月〈無料説明会〉開催中

LASIK・屈折矯正(オルソケラトロジー・有水晶体眼内レンズ)

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いのうえご参加ください。

2月4日(土)・3月4日(土)

4月1日(土)・5月13日(土)

〈午前 10:30～(およそ 1 時間)〉

西眼科病院 1F 飲食コーナーにて〉

特殊外来・専門外来のご案内

屈折矯正外来(多焦点 IOL・LASIK・フェイク IOL・オルソケラトロジー)・角膜外来(角膜疾患全般・PKP・DSAEK・羊膜移植・クロスリンク)・ドライアイ外来・ブドウ膜外来・涙道外来(チュービング・DCR)・網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ)・緑内障外来

基本理念のもと、当院は常日頃からスタッフ全員で症例の共有を行い、患者さんにとっての最適解を選択しております。